

IV 絵図関係(金屋町拝領図、大筒や鉄砲などの図面) 10件12点							
No	年代 (年・月・日)	名称(表題)	差出(作成者)	受取	形態	法量 (縦×横cm)	備考
1	享保13(1728)・?・?	金屋町絵図写(外題「寛政十年(享保十三年)→金屋町拝領地地図(赤ボールペン)」)	金屋町組合頭 釜屋弥右衛門、 同 万右衛門、 同 清兵衛		卷子(継紙)	32.1× 142.8(軸長 39.9)	虫損。右半分の薄墨は拝領地、左半分の朱は横田村からの永代請地。拝領地間数は215間4尺(約392m)。立会人は梅染屋源三郎。町内絵図改めにつき、間数を改め、人々の判形を取り、作成。請地の一部は上から追加訂正のため貼紙。紙本墨画淡彩。右の9cm部分の別の紙に「右役所江指上置候絵図之通/寛政十年(1798)五月中旬 写之」とある(別の絵図のものであろう)。下が千保川。
2	嘉永6(1853)・6・?	金屋町内横田村請地の地境取決につき取交絵図(外題「嘉永六年/金屋町絵図」)	釜屋弥右衛門、 釜屋久右衛門		卷子(継紙)	41.6× 157.4(軸長 49.2)	署名・捺印は金屋町々頭の3名(釜屋次郎右衛門・釜屋権右衛門・釜屋万右衛門)と(おそらく横田村の)肝煎良助。朱丸は横田村領請地境杭、墨丸は拝領地持地境杭。紙本墨画・墨書。前半部に本図作成の経緯を記す。上が「金屋町東側」。
3	?・?・?	金屋町絵図 (外題「金屋町拝領地古図」)			卷子(継紙)	24.0×67.9(軸 長30.7)	千保川「河道」と、「吹場」3ヶ所、「家」6ヶ所、「納屋」3ヶ所、「蔵」2ヶ所を示す。紙本墨画。下が千保川。「鑄物師/久右衛門」印あり。
4	?・?・?	①金屋町絵図 (外題「金屋町拝領地古図」)			卷子(継紙)	32.5×42.2	絵図3点を繋げて卷子状に仕立てられている。上が千保川(南東)。「鑄物師/久右衛門」印あり。
	?・?・?	②金屋町絵図 (外題「金屋町拝領地古図」)				32.5×42.6	下が千保川(北西)。「鑄物師/久右衛門」印あり。
	?・?・?	③金屋町絵図 (外題「金屋町拝領地古図」)				31.5×42.6	下が千保川(北西)。「鑄物師/久右衛門」印あり(左下の裏)。
5	?・?・?	金屋町絵図			マクリ (継紙)	33.6×43.6	紙本墨画・墨書。裏打済。「○」が敷地の角など何ヶ所にもある(杭の位置であろう→「No.2」の嘉永6年の絵図と関連あるか?)。
6	明治43(1910)・7・?	金屋町地主地図(御縁地地主・請地主名簿 高森久右衛門控)	高森久右衛門		マクリ (継紙)	54.2×74.5	紙本墨画・墨書。四隅に画鋏穴痕。家と家との間に赤ペンで線引き。
7	?・?・?	大筒図面(端裏「入(粉?)筒」)			マクリ (継紙)	27.5×147.8	右より「左側面図」「(背?)面図」「前面図」「上面図」。上面図のみに寸法を細かく記す。「先口三寸九分(≒11.8cm)」などと記される。
8	?・?・?	二百目玉異風筒図面 (端裏「二百目筒」)			マクリ (継紙)	27.4×91.8	側面図のみ。200目筒玉とは弾丸の重さのこと[1目(匁)は約3.75gなので750g]。墨書「稲垣平助殿/一、式二百目玉異風筒注文/一、筒長式尺式寸壹分(≒67cm)/但 脇丸形八角棋子外図之通り」。
9	?・?・?	日本全図			マクリ (継紙)	80.1×117.4	木版。虫損甚だし、ハガレ、シミ。左端裏と繋ぎ目のみ裏打補強。
10	?・?・?	高岡市街之図(高岡全市火防水利用地図)	(高森常次郎)		マクリ (継紙)	54.0×77.8	ヤブレ、シミ。既製品の地図の裏に墨書で「高岡全市火防水利用/地図(印「富山県高岡□□□(消防団?)」/第四部小頭用/三枚ノ内三号)とあり、「●(青丸)貯水池火防線」や「脚筒自動車不通路」などと凡例を加筆し、地図内にも記入。高森家11代常次郎氏(昭和4年没)は高岡消防団第4部小頭部長であった。